

タテ、ヨコそれぞれに当てはまる言葉でマスをうめてね。
アルファベットのマス^①を順番に並べると、
仏教にちなんだ言葉（キーワード）^②があらわれるよ。

1		2		3		4		5
		6	7		8			
9	10						11	
	12	13		14		15		
16		17						18
	F					E		C
19	20					21	22	
		D						
	23		24		25			
26			27				28	29
				B				A
		30			31			

キーワード

A	B	C	D	E	F
---	---	---	---	---	---

ヨコのカギ

- 手術や歯のちりょうをするとき、痛みを感じさせなくするための方法。
- カカオの実を炒(い)った粉から、ココアバターをとりぞいたもの。または、それをお湯や牛乳にとかした飲みものこと。
- むかしばなしに出てくる、竹から生まれたおひめさま。大きくなって、月へ帰っていきました。
- 吸盤(きゅうばん)のたくさんついた足を8本もつ、海の生きもの。
- 着物の上から腰(こし)のまわりに巻く、細長い布のこと。
- 日本では1981年に絶滅(ぜつめつ)した鳥。現在は人工繁殖(はんしよく)が行われています。
- 仏壇(ぶつだん)においてある、金ぞくのカネ。たいてい音を鳴らします。
- ジャガイモの別名。漢字では「馬鈴薯」と書きます。
- おまつり会場などでならぶ、かんたんな作りのお店。「屋台(やたい)」「露天(ろてん)」など言うこともありますね。
- 赤ちゃんや、小さい子どものめんどうを見ること。兄弟が多いと、子どもの役目だったりします。物や生きものが、時間をかけて、環境に合う状態へと変化していくこと。サル仲間が、
- これによって人間になったと言われています。
- 原料は「大豆(だいず)」と「にがり」。絹(きぬ)や木綿(もめん)の布で、こして作るよ。
- 指きりげんまん♪ウソをついたら針を〇〇本も飲まされちゃうんだって!?
- 生活の基本的な条件は「衣・〇・住」の3つです。
- かみの毛をとかしたり、かみにかざる道具。木、鼈甲(べっこう)、象牙(ぞうげ)のものもあるよ。
- おふる屋さんのことを、むかしはこう言いました。「湯(ゆ)」が売りものです。
- 土をねって焼いた、大むかしの食器や道具。作られた時代によって、もようや形もちがいます。

タテのカギ

- カンナで角をつけたりしていない、皮をはいだだけの丸い木材。〇〇〇小屋、〇〇〇んぼう。
- 吸盤(きゅうばん)のたくさんついた足を10本もつ、海の生きもの。
- エダマメやエンドウマメなど、豆の粒が入っている皮のこと。
- 日本人の主食。
- 山にはえている、ツルがのびる植物。秋になると、熟した実がタテにわれます。
- 言ってもしかたがないことを言って嘆(なげ)くこと。口で言うのに「〇〇をこぼす」と言います。
- 脚(あし)の、スネと太ももをつないでいるぶぶん。お皿や、小僧さんもいるんだって(!?)
- 指やツメで、弦(げん)をはじいて鳴らす楽器。日本のものは、正座をして演奏(えんそう)します。
- おじいさんに助けられたツルが、お礼に機(はた)をおりに来たのは「ツルの〇〇がえし」。
- 3、4人で1組の馬と騎手(きしゅ)になり、相手チームの騎手を落としたり、ぼうしやハチマキを取るゲーム。運動会の種目になることもあります。
- 「5、7、5」のリズムで、季節のようすや人の気持ちを表現する、詩のこと。
- 見物や休養(きゅうよう)、調査(ちょうさ)のために、よその土地へ出かけること。修学〇〇、海外〇〇などなど…。
- 肩(かた)から手首までのぶぶんをこう呼びます。
- キュウリやヘチマは、〇〇科の植物です。
- 布などをぬい合わせたり、ししゅうをしたりする機械。
- お葬式(そうしき)や法事(ほうじ)のときに着る服のこと。
- 生きている時に悪事をはたらいた人が、地獄へ行くときに乗るといわれている車のこと。経済的に苦しいようすを、音読みで「火の車」と言ってたとえることもあります。
- 悟って彼岸(あの世)へわたること。またはお坊さんになること。得道(とくどう)と言うことも。
- 八百屋さんや魚屋さんが、商品をしいれるために競(きそ)いながら値段をつけていく買い方。
- りょうりの「さしすせそ」、「さ」は、さとう。「し」は〇〇。以下、お酢、せうゆ(しょうゆ)、みそ。